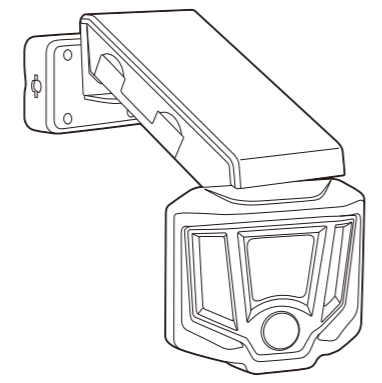


乾電池式 LEDセンサーライト

品番
ESL-151DC



取扱説明書
保証書付

お客様へのお願い

この度は弊社商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みいただき、正しく安全にお使いください。お読みになった後は大切に保管し、必要なときにお読みください。

本品は強盗、盗難、空巢などの被害を未然に防ぐことを保証するものではありません。万一、被害などが発生しましても当社は一切の責任を負いかねますので予めご了承ください。

1 安全上のご注意

ご使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を次のように区分し、説明しています。

<p>警告 この表示の注意事項を守らなかった場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示します。</p>	<p>注意 この表示の注意事項を守らなかった場合、人が傷害を負う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を表示します。</p>
--	--

<p>警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ●取り付けは、この取扱説明書に従って確実に行ってください。 ●点灯中や消灯直後は、本体が熱くなっている場合がありますので触らないでください。 ●燃えやすい物や引火しやすい物の近くには設置しないでください。 ●本品は完全防水ではありませんので水に浸したりしないでください。※防雨構造はIP65電気機械器具の保護等級に適合します。 ●正面から見て本体が地面に対して斜めになったり、逆さまになるような取り付けをしないでください。検知機能に異常をきたす原因となります。また万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。 ●視力を損なう恐れがありますので点灯中のライトを直視しないでください。 ●感電の恐れがありますので、乾電池を交換される際は濡れた手で本体に触れないでください。また本体が雨などで濡れている場合も触れないでください。 ●分解・改造はしないでください。また、指定用途以外での使用や、指定外の取付部品を使用しないでください。 	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●温度の高くなるもの(ガス機器やその排気口、エアコン室外機)の近くには取り付けしないでください。 ●本品をベンジンやアルコール、シンナーで拭いたり、殺虫剤を吹きかけないでください。変色、変形、ひび割れの恐れがあるほか、引火、感電の原因となります。 ●不安定な場所に取り付けしないでください。落下などによるけがや火災の原因となります。取り付け後、しっかり固定されているか必ず確認してください。
---	--

■乾電池について

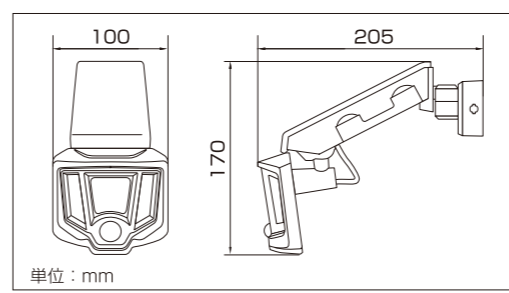
<p>警告</p> <ul style="list-style-type: none"> ●電池が液漏れしたときは素手で液にさわらないでください。液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。 ●電池の液が目に入ったときは、こすらずに多量のきれいな水で洗い流し、ただちに医師の治療を受けてください。 ●火中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しないでください。 ●乾電池は充電しないでください。 ●指定された種類以外の電池は使用しないでください。 ●+と-の向きを正しく入れてください。 ●電池を金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒を持ち運んだり、保管しないでください。 ●使用済みの電池は必ず本体から取り出してください。 ●長期間ご使用にならない時は、電池を取り外して保管してください。 ●新旧および異なる種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。 ●液漏れした電池は使用しないでください。 ●外装フィルムのはがれた電池は使用しないでください。 	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ●火のそばや直射日光のあたる場所、炎天下の車中など、高温になる場所で使用、保管、放置しないでください。 ●電池を落下させたり、投げつけたり強い衝撃を与えないでください。 ●電池の外装フィルムをはがしたり、傷つけたりしないでください。 ●電池に表示されている注意事項もあわせてお読みください。 ●使用済みの乾電池は環境保全のため、不燃物としてお住まいの地域の所定の方法で処分するか、乾電池の回収を行っている販売店にお持ちください。
---	---

2 仕様

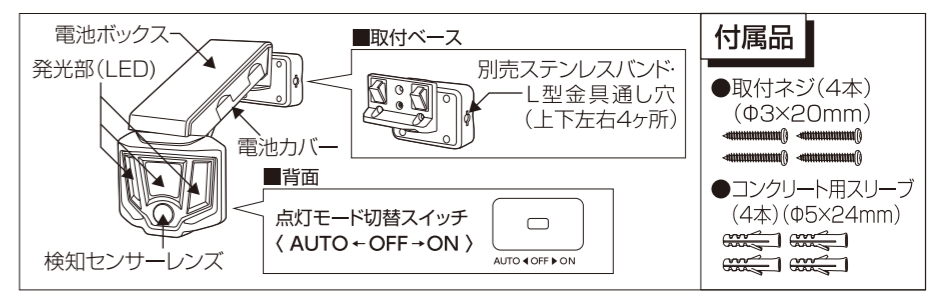
検知方式	赤外線受動式	電源	単三形アルカリ乾電池×6本(別売)
電池寿命	センサー時 約10ヶ月(1日10回点灯時)	常時点灯時 約30時間	※電池の特性上、周辺温度が低い場合は、電池の性能が十分に発揮されず、電池寿命が短くなる場合があります。
光源	白色LED ※LEDの交換はできません。	全光束	センサー時 約270lm / 常時点灯時 約120lm
点灯保持時間	約10秒(固定)	点灯開始照度	約10lx以下
保護等級	IP65 (耐塵形 / 防噴流形)	使用周囲温度範囲	-20℃～+50℃ ※電池の特性上、周囲温度が低い場合は、電池の性能が十分に発揮できない場合があります。
質量	約245g(電池含まず)		
付属品	取付ネジ4本(Φ3×20mm)、コンクリート用スリーブ4本(Φ5×24mm)		

※LEDの交換はできません。
 ※商品の特性上、明るさや光の色にバラつきが出る場合がありますのでご了承ください。
 ※仕様及び外観・外装は予告なしに変更することがありますので、ご了承ください。
 ※製造には万全を期しておりますが、万一不具合のあった場合は良品と交換いたします。それ以外の責はご容赦ください。

3 外形寸法図



4 各部の名称と付属品

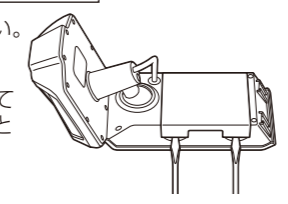


- 付属品**
- 取付ネジ(4本) (Φ3×20mm)
 - コンクリート用スリーブ(4本) (Φ5×24mm)

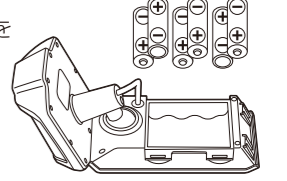
5 電池の準備

使用電池:単三形アルカリ乾電池×6本(別売) ※電池交換の際も同様の手順でおこないます

- ①「点灯モード切替スイッチ」を「OFF」にしてください。
- ②本体背面の電池カバーを取り外します。
※右図のようにマイナスドライバーを差し込んで外してください。手やドライバー以外の工具を使用するとケガや故障の原因となりますのでご注意ください。



- ③電池ケース内の⊕⊖表示を確認して、単三形アルカリ乾電池を6本セットします。
- ④電池カバーを元通りに取り付けます。



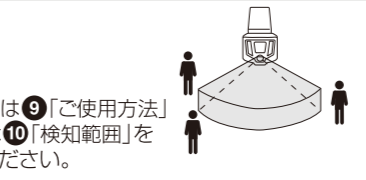
※マンガン乾電池、単三形充電電池を使用すると正しく動作しない場合があります。
 ※スイッチがAUTOの場合、乾電池をセットすると、約10秒間ライトが点灯する場合があります。(ウォームアップ時間)
 これはセンサーライトの初期安定動作であり故障ではありません。

点灯時間が短くなったり、点滅したり、点灯しなくなった場合は、全て新しい電池に交換してください。

6 まず初めに

⚠ 設置を行う前に各機能が正しく動作するか、周囲が暗い状況で動作確認を行ってください。

- ①点灯モード切替スイッチをAUTOにします。ウォームアップ(初期安定動作)が開始され約10秒間、点灯します。この間ライトは点灯したままに



ご使用方法は⑨「ご使用方法」になりますので、検知範囲外に離れてお待ちください。
 ご使用方法は⑨「ご使用方法」
 検知範囲は⑩「検知範囲」を参照してください。

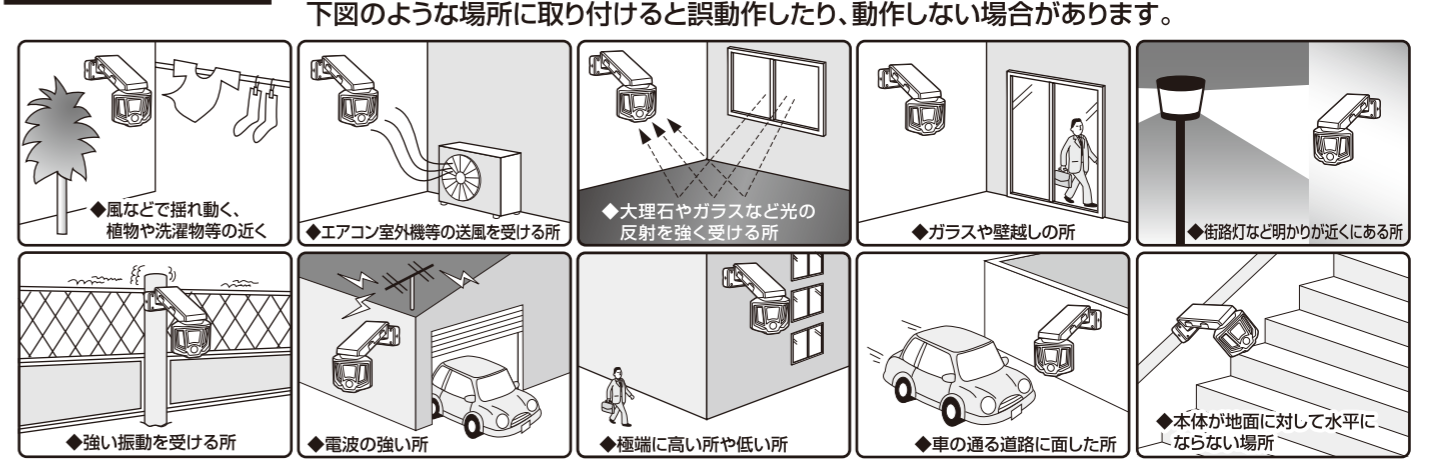
- ②消灯後、検知範囲を横切るように歩き、ライトが全点灯する事を確認します。続いて検知範囲外へ移動すると約10秒後にライトが消灯する事を確認します。

7 設置場所

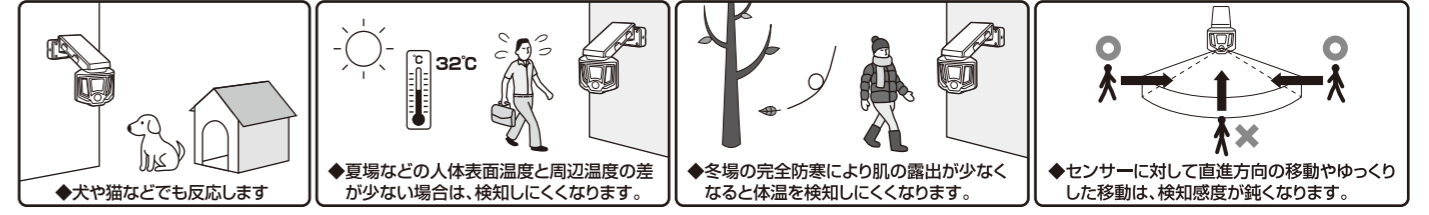
⚠ 本体の設置を行う前に各機能が正しく動作するか動作確認を行ってください。

取り付け上のご注意

※センサーは周囲の明るさと温度変化を検知します。下図のような場所に取り付けると誤動作したり、動作しない場合があります。



センサーの特性上、以下の点にご注意ください。

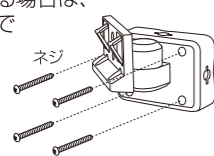


8 取付方法

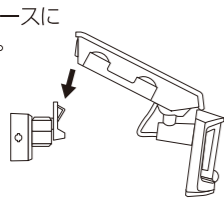
- ▲ 万一落下しても事故の起こらない場所に取り付けてください。
- 本品の設置(取り付け、取り外しなど)により生じた建物等への損傷やその他損害について、当社は一切責任を負いません。
- 取付ベースから本体を外せるように上部は空間をあけて設置してください。

ネジで取り付け

①木製の壁等に取り付ける場合は、付属の取付ネジ(4本)で取り付けください。取付ベースを付属のネジで壁に取り付けます。

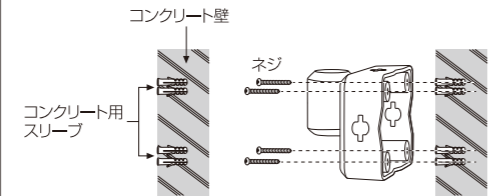


②右図のように取付ベースに本体をはめ込みます。取付ベースをはめ込む際は指などを挟まない様ご注意ください。



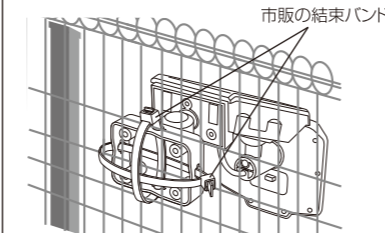
コンクリート壁への取り付け

あらかじめドリルで直径5mm、深さ24mmの穴を開けます。そこへ付属のコンクリート用スリーブを打ち込んでから、付属の取付ネジで取付ベースを固定してください。



市販の結束バンドで取り付け

取付ベースのL型金具通し穴の上下左右4ヶ所に耐候性の結束バンドを通し、金網やフェンス等に取り付けます。

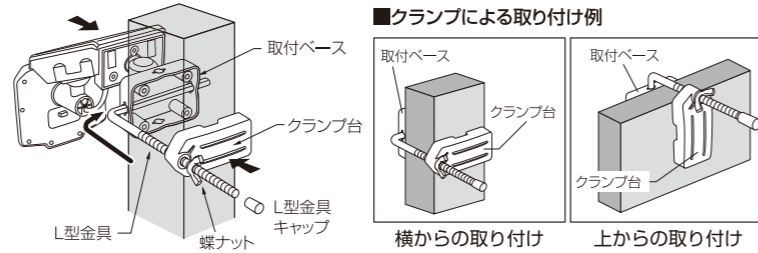


※屋外設置には耐候性のある結束バンドをご使用ください。
※必ず上下左右4ヶ所で固定してください。

別売クランプによる取り付け (弊社型番ESL-CS)

最小約10mmから最大約100mm幅まで取り付け可能

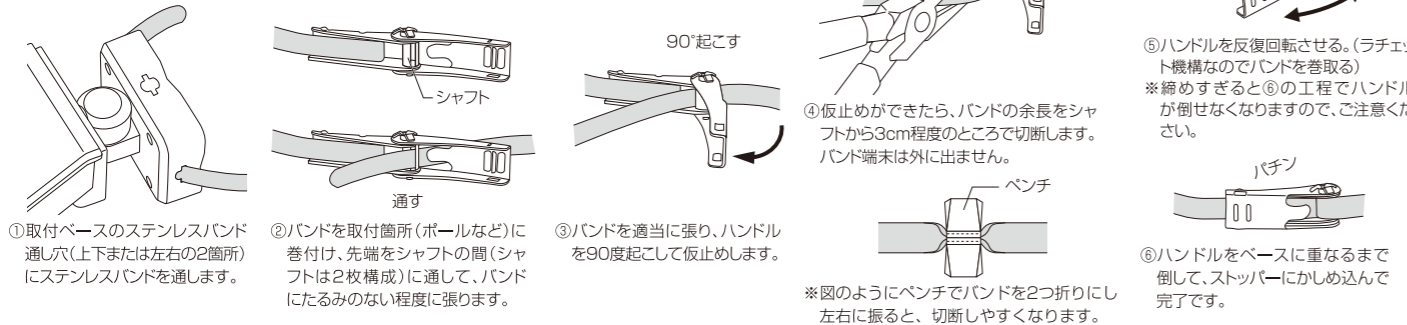
- ①取付ベースのL型金具通し穴にL型金具を差し込みます。
- ②L型金具にクランプ台を通し蝶ナットで締め付けます。
- ③L型金具の余った部分に別売クランプに付属しているL型金具キャップをかぶせてください。



別売ステンレスバンドによる取り付け (弊社型番ESL-SB)

(直径約260mmまで取り付け可能)

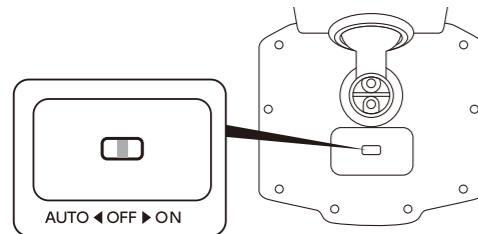
▲ ステンレスバンドの構造上、一度締め付けたとゆるめる事はできません。
※ケガをする恐れがありますので作業用手袋を必ず着用してください。



9 ご使用方法

ご使用方法

点灯モード切替スイッチを切替えます。

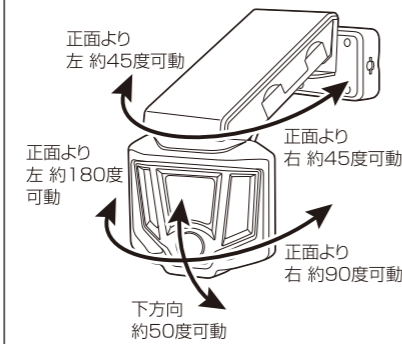


AUTO: 暗い時にセンサーが人を検知すると自動で点灯し、約10秒後に自動で消灯します。
ON: 常時点灯します。
OFF: 消灯します。

※センサーの検知範囲内で人や動物が動き続けると、センサーが再検知し点灯時間は延長されます。

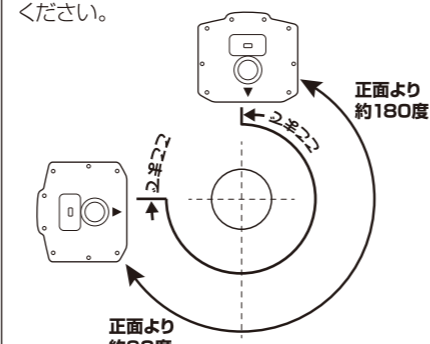
照射方向の調整

ライト部と本体を持って上下、左右に照射角度を調整してください。
※故障の原因となりますので下記角度以上に回さないでください。



ライト部の可動範囲

ライト部背面の▼マークを本体背面の可動範囲表示内(ここのまです)にて調整してください。可動範囲以上にライト部を回さないでください。



10 検知範囲

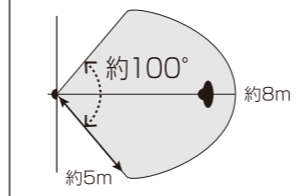
検知範囲について

気温: 25℃ 湿度: 50%

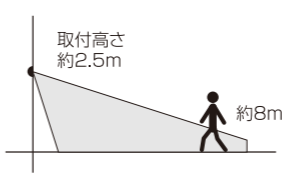
検知範囲は目安です。気温、服装、移動速度、侵入方向、体温、設置場所などにより大きく変化します。

⑦「設置場所」の「取り付け上のご注意」をご確認ください。

【平面図】 検知範囲を上から見た図



【側面図】 検知範囲を横から見た図



- 本品直下は検知できない場合があります。
- 検知範囲は、周囲の気温、明るさ、人の体温、服装、移動速度、設置する高さにより大きく変化します。特に夏場など人の体温と周囲の気温の差が少ない場合、冬場など人の肌の露出が少ない場合(防寒具など)は検知しにくくなります。
- 人以外で熱源となるもの(動物、空調機の風、暖房機の温風など)も検知します。特に強い熱源は検知範囲外でも検知することがあります。
- 人がいても動かない場合や、移動速度が極端に速い場合、または遅い場合は検知しないことがあります。
- センサーに対して直進方向の移動は検知しにくくなります。
- 以下のような場所に設置すると誤作動の原因となりますので設置場所を変更してください。
・風などで揺れる植物やカーテン等の近く
・エアコン等の送風を受ける所
・光の反射を受ける所
・ガラスや壁越しの所
・強い振動を受ける所
・取付高さが3m以上の所
・車の通る道路や人通りの多い所
・電波の強い所

11 故障かなと思ったら

現象	考えられる原因	処置
ライトが点灯しない (センサーが反応しない)	乾電池が消耗している。	すべて新品のアルカリ乾電池に交換してください。
	電源がOFFになっている。	点灯モード切替スイッチをAUTOまたはONにしてください。
	電源が正しく供給されていない。	電池を正しく入れてください。
	センサーに向かって直進している。 ※センサーの特性上、正面方向から近づいた場合は検知距離が極端に短くなります。	センサーの検知範囲に対して、検知対象(人など)が横切るような場所へ取付ける。
	周囲が明るい。(夜でも周囲に他の照明器具がある)	他の照明器具の明かりが届かない場所へ取付場所を変更する。
	寒いときや雨降りの時で、人がマフラーや傘などで覆われている。	取付場所を変更する。 ※センサーは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合などは検知しにくくなる場合があります。
	夏場など周囲の温度と人体の温度差が小さい。 非常にゆっくりとした速度で検知範囲に侵入している。	取付場所を変更する。
	検知範囲が遮られている。 ※ガラスや壁、塀越しには人の動きを検知できません。	取付場所を変更する。
	本体が正しく設置されていない。 ・高い位置に設置している ・低い位置に設置している ・傾けて設置している	本体は約2.5mの高さに垂直に設置してください。
	ライトが点灯したまま消えない(センサーが反応し続ける)	何らかの物体にセンサーが反応し続けており、点灯時間が延長されライトが点灯したままになっている。
人がいないのに点灯する	検知範囲内、または周囲に下記のような誤動作をする要因がある (例) 風で揺れるもの(植木、洗濯物、旗など)、犬や猫などの動物、温風や冷風が吹き出すエアコン室外機、ガス給湯器からの熱気、強い無線ノイズ	誤動作要因となっているものを検知範囲内から取り除く。
	検知範囲が道路にかかっており、通行する自動車や人に反応している	取付場所を変更する。
ライトが点滅する (点いたり消えたりを繰り返す)	風や車両の通行等により、本品を取り付けている柱などが振動している	振動の影響を受けない場所に取付場所を変更する。
ライトが点いてもすぐに消える	本品の発光方向に光を反射する障害物がある ※反射した光がセンサーに当たって誤動作する場合があります。	光を反射する障害物を取り除くか、取付場所を変更する。
	乾電池が消耗している。	すべて新品のアルカリ電池に交換してください。